

(別紙様式1-2)

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和6年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 観音寺市立大野原小学校
(2) 所在地 香川県観音寺市大野原町大野原1905番地
(3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援学級	児童生徒数計	教員
2学級 54名	3学級 83名	3学級 87名	3学級 99名	2学級 77名	3学級 96名	5学級 30名	496名	31名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 主体的に考え、共に高め合う児童の育成 ～きくことから思考を深める授業づくり～
(2) 研究主題設定の理由

本校の児童は、明るく素直で、与えられた課題にはまじめに取り組むが、その一方で、進んで人とかかわること、人の立場に立つこと 夢や目標をもち自らを律し努力していくことには消極的な面がうかがえる。そこで、「夢出せ！知恵出せ！元気出せ！！」をスローガンとして、道徳や「新ふるさとの心」の学習、学校や地域の人とのかかわりを通して豊かな心を育み、「やさしく かしこく たくましく」生活する子どもの育成をめざしている。

特に、校内研修では、「きくこと」に焦点化し、思考ツールや ICT を活用して学びを深めたり、見方や考え方を働かせたりする子どもを育むための指導について研究を深めていきたいと考え、本主題を設定した。

(3) 研究内容及び方法

- ① 考えをきき合い、認め合う集団づくり
ア 授業中、授業外でのきき合い活動の充実
・ 「きき合いタイム」（朝のドリルの時間）等の取組によるきき合い方のスキル向上
イ 児童が語る授業づくり
・ 「新ふるさとの心」を活用した道徳教育の充実
・ 総合的な学習の時間や他教科などつないだ単元構成
・ 道徳的価値に迫る中心発問や補助発問の工夫
・ 話型やリレー言葉を生かしたつなぐ発表の紹介
・ 目的に応じた小集団設定での議論
・ 教師、児童同士の問い返し
ウ 認め合う集団の素地作り
・ 「自分から積極的に行動する」経験や自尊感情を高める取組の充実
② 児童の思考を可視化し、話し合いを活性化させる支援の工夫
ア 価値項目に合った思考ツールの活用
イ 板書の工夫
ウ ICT 活動の効果的な活用

3 成果の評価方法（検証方法）

- ・ 全国学力・学習状況調査、県学習状況調査の質問紙調査の活用。
- ・ 児童への学校生活アンケートを毎学期実施し、分析・検証するとともに、道徳教育に関するアンケートを児童・保護者・教師に年間2回行い、その結果を検証する。

4 研究成果の普及方法

- ・ 1、2学期に各1回（2学期は11月13日（水）の三観小研の研究発表会を兼ねる）授業公開を行う。
- ・ 香川の教育づくり発表会において、研究の成果を発表する。

5 その他

本校では、道徳教育に関して、香川大学大学院 清水顕人 准教授より指導を受けており、本指定研究においても、引き続きご指導をお願いしたいと考えている。